

アルマティ案内



在カザフスタン日本国大使館

2024年5月現在

カザフスタン概要

正式国名：カザフスタン共和国
首都：アスタナ(旧ヌルスルタン)
面積：2,724,900 km² (日本の約7倍。世界第9位)
人口：約2,000万人(2024年3月現在。国民経済省統計委員会)
国家語：カザフ語(ロシア語は公用語としてカザフ語に準ずる地位を有している)
通貨：テンゲ(2024年5月現在1ドル=約440テンゲ)
日本との時差：4時間

カザフスタン外務省の発表により、日本一般旅券所有者は、2017年1月1日より最大30日間、無査証でカザフスタンに滞在することが可能となった。滞在登録に関しては、入国審査時に30日までの滞在登録手続きが行われるため不要となる。※30日を越える滞在の場合、査証の取得が必要となる。

査証についての照会先：駐日カザフスタン大使館 03-3589-1821

参考：「我が国に対するカザフスタン査証免除について」

<https://www.kz.emb-japan.go.jp/files/000214721.pdf>

【滞在時の注意】

- ・外国人は旅券の常時携帯が求められている。

【地理】

カザフスタンはユーラシア大陸の中央に位置し、東には3,000m級のアルタイ山脈、西にはカスピ海、北には西シベリア・ステップ、南にはクズルクム砂漠と天山山脈の支脈を有する。広大な大地には古来よりサカ族、フン族、テュルク系諸族、モンゴル族等多くの民族が混淆している。それに加えて旧ソ連時代に行われた移住政策とソ連崩壊後の移動の結果、今日ではカザフ人(70.6%)、ロシア人(15.1%)、ウズベク人(3.2%)、ウクライナ人(1.9%)、ウイグル人(1.5%)、ドイツ人(1.1%)、タタール人(1.1%)、アゼルバイジャン人(0.7%)、朝鮮人(0.6%)はじめ100を超える多くの民族が暮らす多民族国家となった。

国土は14の州と3つの特別都市(首都アスタナ市、旧首都アルマティ市、シムケント市)の行政区域からなる。バイコヌール宇宙基地はロシアが租借している。

【宗教】宗教はイスラム教(スンニ派)が全体の70%を占めるが、他のイスラム圏に比べ著しく世俗的で、生活を制限する厳しい戒律はほとんどない。酒類は広く販売されており、場所によっては豚肉を販売している店もある。女性の服装も全く自由。次いでキリスト教(ロシア正教が多数)が全体の26%を占めている。

2024年のイスラム教の断食期間は3月10日(日)~4月9日(火)の30日間。断食期間中、イスラム教徒は夜明けから日没まで飲食をとることができないが、カザフスタンにおいては、断食の実践は個人意志に委ねられており、断食をしない人は自由に飲食することが可能。断食期間中であっても、オフィス・

商店等は通常営業する。なお、断食明けの祭り（オラザ・アイト）は4月10日（水）。

【カザフスタン政府が定める祝日（休日）】

1月1日～2日	新年
1月7日	クリスマス（ロシア正教） ※ユリウス暦を採用しているロシア正教のクリスマス。都市部では、新暦の12月25日前から1月7日を過ぎるまで街がクリスマス・ツリー等の飾りで彩られる。
3月8日	国際婦人デー
3月21日～23日	ナウルーズ（春分祭） ※中央アジアからトルコにかけて広く祝われる旧正月。この日には、「ナウルーズ・コジェ」と呼ばれる、小麦、きび、冬用保存肉、ヨーグルト、牛乳など7種類以上の材料で作られた雑炊を食べる習慣がある。
5月1日	民族統一記念日
5月7日	祖国防衛者の日
5月9日	戦勝記念日
7月6日	首都の日
2024年は6月16日頃	犠牲祭／クルバン・アイト ※イード・アルアドハーの呼称でも知られるイスラム教の祭日。断食期間終了後70日目に当たるイスラム暦（太陰暦）12月10日に祝われる（イスラム暦12月10日に当たる新暦の日付は毎年変わる）。この日は、羊、牛、山羊、ラクダ等を屠り、知人・親戚を迎えて食事をする。
8月30日	憲法記念日
10月25日	共和国の日（2022年新設）
12月16日、	独立記念日

2. アルマティ市概観

（1）地理

アルマティ市は面積約325km²、人口約224万人（2024年4月、国民経済省統計委員会）でカザフスタン共和国の南東部に位置する同国最大の都市である。北緯43度に位置し、日本では札幌とほぼ同緯度である。アルマティ市は天山山脈の支脈であるアラタウ山脈の標高約650～1,200mの位置にあり、アラタウ山脈の雪解け水が大アルマティ川と小アルマティ川となって市内を流れる。市内東部、カザフスタン・ホテルのすぐ裏を小アルマティ川が、市内西部の初代大統領公園脇を大アルマティ川が流れ、夏場には水浴びを楽しむ人々でにぎわっている。市の南東にはコクトベ山（カザフ語で「緑（青）の丘」の意味、標高1,130m）があり、そこから街を眺望することができる。アルマティ市はアラタウ山脈側の位置する南から北に向かってなだらかな下り坂になっており、市内中心部の通りは碁盤の目のように整然

と区画されている。気候は他の中央アジアの諸都市と比べると過ごしやすく、平均気温は夏が 23 度、冬がマイナス 6 度。

(2) 歴史

アルマティでは紀元前 10 世紀頃以降の遺構が発見されており、紀元前 7 世紀頃から古代民族サカ族の支配地域となったと考えられている。アルマティ市近郊イシク村のサカ族の墳墓からは、黄金の鎖帷子や装飾品を身にまとった 17 歳前後の若者、通称「黄金人間」が発見されている。その後テュルク系の諸部族、のちにカザフ人がこの地域を支配し、東西の通商拠点の一つとして発展した。

1854 年、ロシア帝国が中央アジア征服のためヴェルノイ要塞を建設したことで、それまでアルマトゥと呼ばれていた集落（現在のアルマティ）が街として開発されることになった。1867 年にはセミレチエ州の州都としてヴェルヌイと改称され、行政の中心地となった。1911 年に発生した大地震で、街は甚大な被害を受けた。

ロシア革命後、1920 年にキルギス自治ソヴィエト社会主義共和国が形成され、ヴェルヌイは同共和国に編入された。キルギス自治ソヴィエト社会主義共和国の首都ははじめオレンブルグであったが、1925 年に共和国名がカザフ自治ソヴィエト社会主義共和国に変更されると同時に首都はクズルオルダに移され、1929 年にアルマタ（1921 年ヴェルヌイから改称、現在のアルマティ）に遷都した。カザフ自治ソヴィエト社会主義共和国は 1936 年 12 月にカザフ・ソヴィエト社会主義共和国となり、アルマタは同国の首都として発展を続けた。トルキスタン・シベリア鉄道が完成した 1930 年以降、同地の開発が本格的に始まり、第二次世界大戦時にはソ連西部から大量の避難民、疎開者がアルマタに移住したことで人口が増加し、街も発展した。

ゴルバチョフ書記長によるペレストロイカ路線が始まった 1986 年 12 月、アルマタで「ソ連初の民族暴動」といわれる暴動「アルマタ事件」が起こった。カザフ人のクナーエフ・カザフスタン共産党第一書記を罷免し、ロシア人のコルピンを第一書記に任命した人事をきっかけとするこの暴動は、民族的暴動の様相を呈した。暴動は、現在のアルマティ大統領官邸前にある共和国広場で発生し、死者多数、負傷者数百名を出したと言われている。

その後 1990 年 10 月にカザフ・ソヴィエト社会主義共和国は共和国主権宣言を発出し、1991 年 12 月のソ連崩壊に伴って同年 12 月 16 日に独立し、カザフスタン共和国と国名を改称、アルマタ市はアルマティ市に改称された。

1997 年 12 月 10 日、首都はアルマティ市からアスタナ市（2019 年 3 月にヌルスルタン市へ改称その後 2022 年に再度アスタナ市に戻された。）に移されたが、その後もアルマティ市はカザフスタンにおける共和国的意義を有する都市として認定され、一般的にも「南の首都」と呼ばれているように、依然として同国の経済・文化の中心として発展を続けている。

3. 交通

(1) 航空

アルマティ国際空港 (HP: <https://alairport.com/kk-KZ/>) は街の北東約 18km の郊外に位置し、国際線、

国内線が発着している。国際線発着・国内線出発ターミナルと国内線到着ターミナルは別棟となっている。冬季は吹雪・濃霧等の悪天候により発着が遅れがちとなる。

2024年5月現在、日本―アルマティ間の主要ルートとしては、ソウル経由、ドバイ経由、イスタンブール経由等が挙げられる。

空港には白タク運転手が多いが、安全面に問題があるので利用は厳に避け、事前にホテルに送迎を頼んでおくかタクシー会社を利用する。または、ヤンデックスタクシーなどの配車サービスの利用をおすすめする。(ただし、事前にアプリを携帯にダウンロードすること、またカザフスタン国外のカードを登録することができない場合がほとんどのため、事前に細かい現金を用意することが好ましい。)市内までは約2,000～3,000テンゲ。

(2) 鉄道

アルマティ市には、アルマティ第1駅及びアルマティ第2駅があるが、市内中心部に位置しているのはアルマティ第2駅。アルマティ～アスタナ間を約15時間で結ぶ寝台特急列車(通称「タルゴ Talgo」)が毎日運行されている。「Talgo」の他にも毎日数往復の寝台列車の運行があるが、ヌルスルタンまで片道21～23時間を要する。

(3) 市内交通

2015年末から2016年にかけてIC乗車券「オナイ Onai/Оңай」カード(<https://onay.kz/#/>)が導入され、アルマティ市内の公共交通機関(バス、トロリーバス、路面電車、地下鉄)で利用できるようになった。「オナイ」カードには、1枚500テンゲのプリペイド式カード(一乗車あたり100テンゲ)と、1枚7,200テンゲの1か月券(月初から月末まで有効、乗車回数制限なし)の2種類がある。

500テンゲのカードは、バスの運転手・改札係、鉄道駅アルマティ第1駅及びアルマティ第2駅、リクソス・ホテルの他、市内各所のキオスクでも購入できるが、キオスクでは手数料が発生する場合がある。市内各所に設置されている電子決済サービス機器「Kaspi」等でカードにチャージをすることができる。なお、カードそのものに有効期限は無いが、チャージしたまま6か月以上使用しない場合、チャージした金額は無効になる(返金されない)。

7,200テンゲのカードは、通常バス停近くに立つ、キオスク「カラヴァン Karavan (К а р а в а н)」、
「メトロ駅 Metro stantya (м е т р о с т а н ц и я)」で販売されている。

●市バス

市バスの運賃は「オナイ」カード利用時は一律100テンゲ、現金支払い時は一律200テンゲ。距離によって料金が変わることはない。

カードを利用する場合は、乗車口付近に設置されている端末にカードをかざすか、端末が無い場合には、改札係に渡す。現金の場合は、料金は改札係に支払うか、改札係がいない場合は運転士に支払う。

降車時はドア付近に立てば停車してくれるケースがほとんどだが、たまに改札係が次の停留所名を肉声で案内することがあり、乗客から「(降りる客が)います」(ロシア語でЕсть:イエースチ、又はカザフ語でБар:バル)の返答がなく、次の停留所に待ち客がいない場合は通過してしまうことがあるので要注意。運行ルートが突然変更されることがある他、新規路線が毎年開通するので、不安な場合は

行き先を改札係又は車掌に聞くこと。ウェブサイト「City Bus」(<http://www.citybus.kz/> : ロシア語)「Yandex Map」(iPhone/Android 対応・英語・ロシア語・ウクライナ語・トルコ語)では、経路検索が出来る。

●地下鉄

街の中心部約 11km を地下鉄が走っており、路線は現在も拡大を続けている。

窓口でジェットンと呼ばれるコインを購入し、改札機に投入する(ジェットンは戻ってこない)。ジェットンは 1 枚 100 テンゲ(6 歳以下 : 不要、7 歳~14 歳 : 50 テンゲ)で、市バス同様、距離によって料金が変わることはない。前述の「オナイ」カードを利用する場合は、カード利用者専用の改札口で、機械にカードをかざす。

電車は 6 時 20 分~24 時 00 分の間、約 10 分間隔で運行されている。時刻表はウェブサイト(<http://metroalmaty.kz/?q=ru/schedule-list> : ロシア語)からダウンロード可能。

●タクシー

タクシーに関しては、運転手には英語は殆ど通じない。大半の会社はメーターの無い車両を使用しているので、乗車前に行き先を告げ、必ず料金を確認すること。白タクの利用は安全上不可。ホテルフロントでもタクシーを呼んでくれるが、料金はやや割高となる。また、携帯通信が可能なら、Yandex Go(英語対応可)というアプリを使って、目的地をアプリ上の地図や住所を入力して、比較的 safely に移動できる。料金は、距離のほか配車状況によっても変動する。

4. 通信・郵便事情

(1) 電話・インターネット

カザフスタン-日本間の電話や FAX は問題なく繋がる。携帯電話が普及しており、空港、ショッピングモール、家電量販店で手軽に購入することができる。SIM カードを別途購入する必要がある。携帯電話通話料金の支払いはプリペイド式。ショッピングモール、スーパー、ビジネスセンター等市中各所にチャージ機が設置してある。

- ・カザフスタンの国番号 : 7, 8
- ・アルマティの市外局番 : 727

カザフスタンから海外に掛ける場合

- ・固定電話から : 「810」 + 「国番号 (日本 81)」 + 「0 をとった市外局番」 + 「相手の電話番号」
- ・携帯電話から : 「+国番号 (日本 81)」 + 「0 をとった市外局番」 + 「相手の電話番号」

生活上必要な番号

- ・消防 101
- ・警察 102
- ・救急車 103

インターネットは十分に普及しており、市内のショッピングモールやカフェでは無料 Wi-Fi が使用可能。モバイル Wi-Fi ルーターも市販されている。ただし、速度等は日本に比べかなり劣る。

(2) 郵便

日本への絵葉書は航空便で約 200 テンゲ。2 週間から 1 か月程度かかる。(紛失する可能性もある) 船便は、到着まで 1~3 か月程度。SAL 便は基本的に航空便以上の時間を要するが、状況により早く到着することもある(1 か月程度)。DHL での送付も可能。EMS 便はカザフスタンから日本へは送付可能。

・郵便局「KazPost」：<http://www.kazpost.kz/en/>

郵便物が届くと、郵便物を保管している郵便局から受け取りに来るよという旨の SMS が届く(携帯電話の番号を記入している場合)ので、指定された郵便局で受け取る。荷物を受け取る際は、身分証明のためパスポートを提示する必要がある。連絡が無い場合もあるので、KazPost の HP でトラッキングをしておくとい。

(3) テレビ

パラボラアンテナとチューナーを設置した上で受信契約を結ぶと JSTV (日本語衛星放送) や BBC、CNN 等外国チャンネルも視聴出来る。また、当地のケーブルテレビ Alma TV から最大 120 局以上のチャンネル (BBC、CNN 等の外国チャンネルを含む) を視聴することができる。Alma TV で番組を視聴する場合は、専用のチューナーが必要。

5. 観光

(1) コクトベ Коктобе

Tel. : 272-77-77、 +7-702-000-44-88

【公園】夏期 : 平日 10:00~01:00、 休日 10:00~02:00

冬季 : 10:00~24:00

【ロープウェイ】 10:00~23:00 (片道 2,000、テンゲ 往復 3,500 テンゲ)

HP: <http://koktobe.com/>



アルマティ市の南東に位置する標高 1,130m の山。山頂からはアルマティの街が一望できる。アルマティ市民にとって最も身近な景勝地といえる。山頂へは、カザフスタン・ホテル近くから出ているロープウェイ(約 6 分)を利用して登ることができる。コクトベとはカザフ語で「緑の丘」の意味。山頂付近には公園が広がっており、遊歩道に沿って小規模な動物園もある。山の斜面にそびえ立つテレビ塔(標高 1,000m、高さ 327m)周辺は軍の施設

で立ち入り禁止となっている。日没時間に訪れると、地平線に太陽が沈む姿が見える。

(2) カザフスタン国立中央博物館 **Центральный Государственный Музей РК**

44 Samal-1 Tel. : 264-26-80

開館時間 9:30~17:30 (入館は 17:00 まで) 火曜休館 入館料 500 テンゲ

HP: <http://csmrk.kz/index.php/en/>



前身は 1920 年に創立されたアルマティ地方中央博物館であり、1944 年、国立中央博物館に名称を変えた後、1985 年、現在の建物に移った。

博物館の豊富な展示物からは、先史時代から現代までのカザフ人及びカザフスタンの歴史をうかがい知ることができる。展示場は、先史時代から 16 世紀頃までの歴史、15 世紀から 20 世紀初頭にかけてのカザフの伝統的な生活、カザフスタンに住む諸民族、第二次世界大戦中のカザフスタ

ン、現代カザフスタンの 5 つに分かれている。

(3) 民族楽器博物館 **Музей Казахских Народных Музыкальных Инструментов**



24 A Zenkov str. Tel. : 291-69-17

開館時間 10:00~19:00 月曜休館

入館料 : カザフ人 1,000 テンゲ 外国人 1,500 テンゲ

HP: <https://almatymuseum.kz/yh1as-en/>

後述のパンフィロフ 28 戦士公園内にある。プラト=サリバエフ氏によって収集・保存された楽器コレクションを中心に、カザフ人の伝統的民族楽器が展示されている。博物館には、著名な詩人や作曲家、アンシュといわれる歌手やクイシュといわれる楽器演奏者によって使用された 40 種類以上にも及び楽器が展示されている。カザフの代表的な弦楽器ドンブラや、古くはシャマニズムの儀式にも使われた弦楽器コブズ、古くから伝わる箏に似た 7 弦楽器ジェティゲンなどカザフの民族楽器に関する展示がある。

建物はアンドレイ・ゼンコフによる設計で、1908 年に建てられた木造建造物である。

(4) カザフ考古学博物館 **Археологический музей Академии наук РК**

28 Shevchenko Str . Tel. : 272-38-96

開館時間 : 月~金曜日 9:00~18:00 (13:00~14:00 は休館) 入館料: 150 テンゲ

カザフスタン国内で発掘された遺物の保存及び研究を目的として、1973 年、カザフ・ソヴィエト科学アカデミー附属博物館として設立された。金属器、ガラス製品、陶器、骨角器、武器、日常生活に用いられた道具、装飾品等 4 千点以上が保管されており、うち千点以上が展示されている。その他、「黄金人間」のレプリカも展示されている。

(5) カステエフ記念国立美術館 **Государственный музей искусств РК им. А. Кастеева**

22/1 Micro-district Koktem-3 Tel. : 394-57-15

開館時間：10:00～17:00（入館は30分前まで）月曜と毎月最終日休館 入館料500テンゲ

HP: <http://www.gmirk.kz/index.php/en/>

1935年に設立されたカザフ国立美術館が前身となっている。1974年、現在の建物に移った後、1984年、近代カザフ絵画の発展に寄与した著名なカザフ人画家カステエフ(1904-1973)の名を冠する美術館となった。日本コレクション約240点を含む2万3千点以上の作品を所有しており、カステエフの作品を始め、カザフスタン、ロシア、西ヨーロッパ、アジアの芸術家による各種の彫刻、絵画が展示されている。

(6) アバイ記念カザフ国立オペラ・バレエ劇場 **Казахский государственный академический театр оперы и балета им. Абая**



110 Kabanbay Batyr str. Tel.: 272-79-34

HP: <http://www.gatob.kz/en/>

1934年に設立。アルマティの代表的なバレエ・オペラ劇場。2001年にリニューアル・オープンした。初演は、作家・文芸学者アウエゾフの台本によるミュージカル・コメディ「アイマン・ショルパン」。現在では、「カルメン」や「白鳥の湖」、「マダム・バタフライ（蝶々夫人）」といった代表的作品の他、カザフの“ロミオとジュリエット”といわれる「コズ・コルペシュとバヤン・スウルウ」、カザフの英雄叙事詩を題材にした「アルパムシュ・バトゥル」など、カザフの伝統文芸をオペラにアレンジした作品も上演されている。

(7) パンフィロフ28戦士公園 **Парк им. 28 Гвардейцев-Панфиловцев**



40 Gogol str.

ゴーゴリ通りとカズバク・ビー通りの間にある公園。大祖国戦争（第二次世界大戦）の際に当地で編成され、モスクワに出征したイヴァン・パンフィロフ率いる28人の戦士を記念して造られた。敷地内には、28戦士のモニュメントや、永遠の火が灯る無名戦士の墓、ヴォズネセンスキー正教会があり、市民の憩いの場となっている。

(8) ヴォズネセンスキー正教会 **Вознесенский Кафедральный собор**

HP: <https://cathedral.kz/en>

40 B Gogol str.



パンフィロフ28戦士公園内にあるロシア正教会。アルマティの建築家、アンドレイ・ゼンコフの設計に基づき、1904年～1907年に建設された木造建造物。設計者の名に因んでゼンコフ正教会とも呼ばれる。1911年、アルマティを襲った巨大地震でも倒壊しなかったという。1929年から1985年までアルマティ地方中央博物館（現：カザフスタン国立中央博物館（前述））として利用さ

れ、その後コンサート会場兼展示場としての役割を果たし、1995年からは再びロシア正教会としての役割を果たしている。

(9) 共和国広場 **Площадь Республики**

市役所（旧大統領府）の前、サトゥパエフ通りにある広場。ナウルーズ等の祝祭行事はこの広場で行われる。1986年12月に発生した暴動「アルマアタ事件」の舞台でもある。また、2022年1月、アルマティの共和国広場を中心とした全土で大規模な暴動が発生し、治安機関職員を含む200人以上が死亡した。この事件は既に収束しており、アスタナ（旧ヌルスルタン）市内では暴力的事案は発生しなかったが、現在も事態の全容解明に向けた捜査が完了しておらず、情勢面で引き続き予断を許さない状況が続いている。

(10) メデウ **Медеу**

Tel. : 232-68-48 <https://medeu.kz/>（ロシア語）

【11月1日から】月から金 10:00~12:30、13:30~16:30、19:00~23:00、土休日 9:00~11:00、12:00~15:30、17:00~20:00、21:00~24:00



入場料：大人 1,000~2,500、テンゲ、14~22歳 600~1,500 テンゲ、7~13歳 500 テンゲ、7歳未満無料
貸し靴 1,000 テンゲ

アルマティ市の中心から南へ15kmの場所に位置する、アラタウ山系中にある観光・スポーツ施設（標高1,700m）。カザフスタン・ホテル前のバス停留所からメデウ行きのバスが出ている。メデウの中心施設であるメデウ・スケートリンク場(10,500㎡)は1972年に開設され、ここで数多くスピードスケートの世界新記録が出されたため、「世界記録の工場」などと言われた。

メデウまでの道中にいくつか設置されているダムは、春先の雪解け水によってしばしば引き起こされた洪水に備えて作られ、実際1973年に大洪水からアルマティを救った。また、ダム裏にある長い階段を上ると美しい景色を眺めることができる。健康のために、この階段を上り降りする現地人も多い。

(11) シンブラック **Чимбулак**



Tel. : 331-77-77 ロープウェイ稼働時間（平日）9:00~18:00
（土休日）9:00~20:00

HP: <https://shymbulak.com/en/>

上述のメデウからさらに4kmほど山を登ったところにあるリゾート地（標高2,200~3,200m）。メデウーシンブラック間にはロープウェイが走っており、更にロープウェイを乗り継いで高度3,200mまで登ることができる。夏は避暑地、冬はスキーリゾート地として賑わう。11月中旬から4月初旬までウィンタースポーツを楽しむことができる。スキー、ス

ノーボード用品は現地でレンタルできる。冬季でも、スキー目的でなくともロープウェイで展望台まで登れる。夏でもロープウェイは稼働しており（稼働時間は要確認）、8月でも万年雪が見られる。

(1 2) アルマティ動物園 Алматинский зоопарк

166 Esenberlin str Tel. : +7-(777)-389-11-22

9:00~20:00 (チケット売り場は 19:00 まで)、※入場は閉館 1 時間前まで

入場料 : 12 歳以上 800 テンゲ 7 歳~11 歳 300 テンゲ 6 歳以下無料

HP: <https://almatyzoо.kz/zoobaq-tarih/> 1937 年に開設されて以来、アルマティだけでなく、カザフスタン各地の人々に親しまれている。現在はほ乳類、は虫類、魚等、合計約 360 種の生き物が飼育されている。

(1 3) 日本人墓地 Кладбище Японцев

アルマティ市内に確認されている日本人抑留者埋葬地は、中央墓地、セーヴェルノエ・カリツォ、第一墓地の合計 3 か所。145 名（名簿記載者数）の日本人が埋葬された中央墓地内においては、墓碑とともに整然と墓石が並び、年に一度、カザフスタン日本人会が清掃・墓参を実施している。セーヴェルノエ・カリツォ内には 18 名（同上記）が埋葬されているといわれているが、中央墓地のような墓碑はない。第一墓地内には 38 名（同上記）が埋葬されていたが、このうちの 36 柱の遺骨がすでに日本に改葬されている。



第二次大戦後、カザフスタン内で抑留された日本人は約 5 万 8,900 名（諸説あり）で、このうち少なくとも約 1,500 名の方が亡くなった。アルマティ市には第 40 収容所が置かれ、現在のホテル「インターコンチネンタル・アルマティ」、新テレビ・センター地区やアルマティ第 1 駅にあったとされる。ここに抑留されていた日本人は、主にアルマティ市建設に従事した。旧国会議事堂、科学アカデミー、第 7 発電所、アブライ・ハン通りやジェルトクサン通りに

ある古い集合住宅が、日本人抑留者によって建設されたといわれている。第 7 発電所は現在もアルマティ市に電力を供給している。カザフスタンの人々の日本人観は「勤勉」や「清潔」であり、このような日本人観の形成には、抑留されていた日本人の印象が大きく反映されているといわれている。

6. ホテル

[支払いは現地通貨テンゲ現金、もしくは多くのホテルでクレジットカード (VISA、MASTER、AMEX 等) の利用が可能。ホテル周辺には、外国人旅行者を狙う詐欺師がよく出没しているので気軽に話しかけてくる人には十分に注意を払う必要がある。]

宿泊費の目安 ★ : 1 泊約 60~90 ドル、★★ : 1 泊約 100~200 ドル、★★★ : 1 泊 200 ドル~。

支払は現地通貨のため、レートにより変動あり。

(1) インターコンチネンタル・アルマティ **InterContinental Almaty**

Zheltoksan str. 181 Tel. : 250-50-00

HP: <https://www.ihg.com/intercontinental/hotels/jp/ja/almaty/alaha/hoteldetail>

96年10月にオープンしたトルコ資本のホテルで、2006年10月よりインターコンチネンタルの系列になった。このホテルが建っている場所には、1949年まで日本人抑留者が収容されていた第40収容所第6支部があった。

無料Wi-Fi有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★★★

チェックイン 14:00 チェックアウト 12:00

(2) ラハットパレス・ホテル **Rahat Palace Hotel**

29/6 Satpaev ave. Tel. : 250-12-34

HP: <https://rahatpalace.com/>

オーストリア、スウェーデン、ドイツなどの企業が参画して建設された。大小会議室やプールもあり、アルマティにおける最高級ホテルの一つ。周辺にはサーカス、遊園地がある。

無料Wi-Fi有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★★

チェックイン 15:00 チェックアウト 12:00

(3) リッツ・カールトン・アルマティ **The Ritz-Carlton Almaty**

77/7 Al Farabi ave. Tel. : 332-88-88

HP: <http://www.ritzcarlton.com/en/hotels/kazakhstan/almaty>

無料Wi-Fi有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★★★

チェックイン 15:00 チェックアウト 12:00

(4) リクソス・アルマティ **Rixos Almaty**

506/99 Seifullin ave. Tel. : 300-33-00

HP: <http://almaty.rixos.com/>

無料Wi-Fi有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★★★

チェックイン 14:00 チェックアウト 12:00

(5) ノボテル・アルマティ・シティ・センター **NOVOTEL Almaty City Center**

104 Dostyk ave. Tel. : 355-38-38

HP: <https://all.accor.com/hotel/8582/index.ja.shtml>

コクトベのロープウェイや、アバイ像の近くに位置し、観光地にアクセスしやすいホテルである。

無料Wi-Fi有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★★

チェックイン 15:00 チェックアウト 12:00

(6) **ホリデイ・イン・アルマティ Holiday Inn Almaty**

2D Timiryazov str. Tel. : 244-02-55

HP: <http://www.ihg.com/holidayinn/hotels/jp/ja/almaty/alakz/hoteldetail>

無料Wi-Fi 有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★

チェックイン 14:00 チェックアウト 12:00

(7) **ドスティク・ホテル The Dostyk Hotel**

36 Kurmangazy str. Tel. : 333-30-00

HP: <http://www.dostyk.kz/en/>

クルマンガズィ通りにある、アルマティでは高級ホテルに分類されるホテル。ソ連邦時代には共産党幹部が利用した歴史あるホテルである。2008年11月に改装オープン。

無料Wi-Fi 有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★★★

チェックイン 14:00 チェックアウト 12:00

(8) **ロイヤル・チューリップ・アルマティ Royal Tulip Almaty**

401/2 Ospanov str. Tel. : 300-01-00

HP: <http://www.royaltulipalmaty.com/en/>

無料Wi-Fi 有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★★

チェックイン 15:00 チェックアウト 12:00

(9) **グランド・ホテル・テンシャン Grand Hotel Tien Shan**

115 Bogenbay batyr str. Tel. : 244-96-11、 244-96-10

HP: <http://ts-hotels.kz/en/>

無料Wi-Fi 有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★

チェックイン 14:00 チェックアウト 12:00

(10) **メルキュール・アルマティ・シティ・センター Mercure Almaty city center**

53 Abylai Khan Avenue. Tel. : 344-28-50

HP: <https://all.accor.com/hotel/BOP4/index.ja.shtml>

無料Wi-Fi 有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★

チェックイン 15:00 チェックアウト 12:00

(11) **パーク・ホテル・アルマティ Park hotel Almaty**

164 nazarbarva str. Tel. : 338-58-10

HP: <https://parkhotel-almaty.com/#about>

無料Wi-Fi 有り、クレジットカード使用可。宿泊費：★★

チェックイン 14:00 チェックアウト 12:00

7. レストラン

以下は、当地在住者等の個人的評価を含め、ご参考までに提供するものです。電話番号、営業時間、料理等の変更が多いため、ホームページ等で事前にご確認願います。

レストラン、バー等の夜の帰り道に犯罪被害に遭う外国人が散見されるので、十分ご注意ください。

値段の目安(食事代のみ) ★：10～20ドル以下、★★：15～30ドル、★★★：25～40ドル、★★★★：35～80ドル、★★★★★：80ドル～。支払は現地通貨のため、レートにより変動あり。なお、当地ではサービス料が料金に含まれており、チップを払う習慣はない。

(1) カザフ、中央アジア料理

【主なカザフ料理】

- ・ベシュパルマック…ラビオリ風の平麺の上に、蒸した馬肉又は羊肉やカズ（馬肉の腸詰め）をのせたカザフの代表的な民族料理。
- ・クウルダック…臓物の煮込み料理。
- ・バウルサック…揚げパン。 ・クルト…塩辛い乾燥チーズ。
- ・クムス…馬の発酵乳。 ・シュバット…ラクダの発酵乳。
- ・ジェント…トウモロコシの粉に砂糖を練り込んだお菓子。
- ・イリムシック…山羊の乳から作ったチーズに砂糖を加えたお菓子。

【当地で頻繁に見られる中央アジア料理】

- ・シャシリク…串焼きの肉（牛肉、鶏肉、羊肉、鴨肉等）。
- ・ラグマン…手打ち麺に、トマトベースと塩で味付けされた肉と野菜ののったうどん。
- ・プロフ…ピラフ。馬肉か羊肉が入っていることが多い。
- ・マンティ…牛肉、カボチャ等を包んだ蒸し餃子。
- ・チャクチャク…細かい棒状にしたパン生地を揚げ、蜂蜜で固めたお菓子。
- ・チェーチェリ…紐状の燻製チーズ。
- ・パフラヴァ…ナッツのペーストを何層にも生地に挟んで焼きあげ、表面にシロップを塗ったお菓子。

●アラシャー Алаша

20 Ospanov str. Tel.: +7-707-746-34-89 254-07-00

月～木 12:00～24:00、金～日 12:00～1:00

HP: <https://alasha.kz/en/home-2/>

ハン（モンゴル系の君主に与えられた称号）の宮殿をイメージしたレストラン。豪華な雰囲気の中でウズベク料理、カザフ料理を楽しむことができる。夜のショーはウズベキスタンの踊りが中心。個室あり。値段：★★★★

●ダスタルハン Дастархан

75 Shevchenko str. Tel. : 272-13-17 (24 時間営業)

HP: https://dastarkhan1.business.site/?utm_source=gmb&utm_medium=referral (ロシア語)

サラダ、スープ、メインがセットのランチメニューあり。「ダスタルハン」とは、宴席、豪華な食事のと。値段：★

●キシラーク Кишлак

540A Seifullin str. Tel. : 679-59-79

36 Dostyk str. Tel. : +7-707-917-50-70 11:00~1:00

HP: <http://kishlak.kz/> (ロシア語)

ウズベク料理を中心に、中央アジア料理全般を手頃な価格で提供している。内装も中央アジア風。値段：★

●チャイハナ・ナヴァト чайхана NAVAT

-48 Dostyk str. Tel. : +7-777-355-1111 10:00~00:00

-500/79 Seifullin str. Tel. : +7-777-306-1111

-77/1 Al-Farabi str. Tel. : +7-777-850-1111

-58 A77/1 Abylay Khan Ave Tel. : +7-777-865-11-11

HP: <http://navat.com.kz/> (ロシア語)

チャイハナとは、喫茶のこと。喫茶というだけあり、お茶のメニューが豊富。食事メニューも充実しており、ベシュバルマックやラグマン、プロフをはじめとする中央アジア料理全般のほかにボルシチなどのロシア料理も提供している。値段：★

(2) ロシア料理

●トラクチール・メドベージ Трактиръ Медведь

-137 Shepetkov str. (Abai ave. と Utegen batyr str. の交差点付近) Tel. : 249-59-39

HP: <http://traktirmedved.kz/> (ロシア語) 11:00~24:00

ロシア風のスープ、サラダの種類が豊富。満席のことが多いので、予約をするか電話で空席状況を確認してから行くとよい。トラクチールとはロシア語で居酒屋のこと。値段：★★

(3) 日本料理

●相撲さん SUMO SAN

159 Baitursynov str. Tel. : 292-87-38、+7-777-666-77-75 292-10-00

平日 10:00~24:00 土休日 : 12:00~24:00

HP: <http://sumo-san.com/>

寿司、天ぷら、ラーメンなどを食べることができる。1997年から営業している日本食レストランで、日本のテイストにこだわっている。値段：★★★

●マンガ・スシ **Manga Sushi**

12:00~24:00

- 78 Baitursynov str. Tel.: +7-701-951-8000
- 94 Abaykhan ave. Tel.: +7-701-951-5070
- 232A Gagarina ave. Tel.: +7-777-950-5070
- 201 Gogolya str. Tel.: +7-701-952-8000
- 226 Nazarbaeva ave. Tel.: +7-708-952-5070
- 133/2 Satpaeva ave. Tel.: +7-708-951-5070

HP: <http://manga-sushi.kz/> (ロシア語)

店内の壁に漫画が描かれているのが特徴的なレストラン。うどん、現地風にアレンジされた寿司等を提供している。値段：★★★

●ラーメン77 **Ramen 77**

- 77 Kabanbay batyr str. Tel.: +7 727 313-19-32 11:00~23:00
- Dostyk Plaza Tel.: +7-708-155-5970 10:00~22:00

HP: <https://abr.kz/restaurant/ramen-77>

2018年10月にオープンしたラーメン店。値段：★

(4) 韓国料理

●ロデム **Родем**

64 Abylai khan str. Tel.:273-12-11 10:00~24:00

ツムの隣の建物にある。アルマティで最初の韓国料理店。小皿にキムチなどの前菜がサービスで出される。ビビンバや焼き肉も手頃な値段で食べられるほか、新鮮な刺身が食べられる(刺身の注文は事前に電話で伝えることを推奨)。値段：★★

●ミヨンガ 「名家」 **Myeong-ga**

7 Syrgabekov str. Tel.: 269-68-66 +7-701-577-20-38 10:30~22:30

やや郊外に位置するレストラン。値段：★★

●エハン **Ehan**

1 Al-Farabi str. (リッツ・パレス 2F) Tel.: +7-778-974-77-22 10:00~22:00

値段：★★

●ゴ・ギ・コリアン バーベキュー **GO GI KOREAN BBQ**

17 Okeanskyi ave. (フレッシュ・プラザ) Tel.: +7-423-280-67-68 12:00~24:00

値段：★★

(5) 中華料理

● トゥーランドット Turandot

-282 Zharokov str. (Dunaevski str.との交差点付近) Tel.: 247-63-18

-157A Abai ave. Tel.: 250-03-99

-97A Nazarbayev str. Tel.: 272-19-86

-1096 Dostyk ave. Tel.: 264-29-98

HP: https://turandot.kz/?city=almaty&lang=en_US 12:00 ~ 24:00

アルマティ市内に4店舗ある。値段:★★

● プリンツェッサ Принцесса

-53 Tulebaev str. (Gogol str.との交差点付近) Tel.: 390-90-65 261-06-27 12:00~24:00

料理にはボリュームがある。値段:★★

● J.Z ペキン ダック J.Z. Peking Duck

-Zein Shashkina St 1 Alma ata Tel.: +7-700-200-58-08 12:00~24:00

料理にはボリュームがある。値段:★★

(6) イタリア料理

● ボルゴ・アンティコ Borgo Antico

11/6 Iskanderov str. Tel.: 271-68-69 12:00~24:00

HP: <http://www.borgoantico.kz/> (ロシア語)

本格的なイタリア料理が楽しめるレストラン。手作りのパスタ類の他、新鮮な魚も提供している。ワインの種類も豊富。値段:★★★★★

● デル・パパ Del Papa

-66 Bukhar zhyrau str. (Auezov str.との交差点付近) Tel.: 313-24-10

-3micro district Orbita-3 (Mustafin str.と Toraigyrov str.の交差点付近) Tel.: 313-24-11

-83 Kabanbai batyr str. (Furmanov str.との交差点付近) Tel.: 313-24-08

-248 Dostyk str. Tel.: +7-700-157-20-30

-87 Gogolya str. Tel.: 313-24-05

-Dostyk Plaza 3階 Tel.: 255-10-16

-3B 6-й Microraion Tel.: +7-209-37-73

10:00~22:30 イタリア料理チェーン店。店内はカジュアルな雰囲気。値段:★★★

● ママミーア Мамамия

HP: <https://ciaopizza.kz/restorany/mamma-mia> (ロシア語)

日~木 10:00~23:00 金・土 10:00~00:00

-109 Panfilova str. Tel.: 273-38-73
-18A Almagul ave. Tel.: +7-700-602-17-17
-187 Tole Bi str. Tel.: 395-48-08
-10/3B Altynsarina Chalapina str. Tel.: 303-24-53
-7 Al-Farabi str. (ビジネスセンターNurly Tau ブロック5A) Tel.: 311-08-15
-Esentai Mall 4階 Tel.: 317-02-02
-81A Tole Bi str. Tel.: +7-707-313-90-30
-263 Pozibakieva str. メガモール 2階 Tel.: +7-775-222-11-17
カジュアルな雰囲気 of イタリアン・カフェ。値段：★★

●チャオ・ピザ Ciao Pizza

HP: <https://ciaopizza.kz/restorany/ciao-pizza> (ロシア語)
-58 Jyandosova str. Tel.: +7-775-131-77-22 11:00~23:00
上述のイタリアン・カフェ “ママミーア” の姉妹店。カジュアルな雰囲気。値段：★★

(7) その他

●ライン・ブリュー Line Brew

187A Nazarbayev str. Tel.: 250-79-85 12:00 ~1:00
HP: <http://line-brew.kz/line-brew-almaty/> (ロシア語)
ステーキ等の肉料理が豊富。夏は店の屋上にも席が設けられる。隣接する輸入化粧品専門店「フランツスキー・ドム」のエッフェル塔が目印。姉妹店の Line Brew Mix (75 Zhambyl str. 12:00~24:00) Line Brew Reserve (Microraiion Samal-2 111、Dostyk Plaza 10:00~02:00) も展開する人気店だ。値段：★★★★

●バンコク Bangkok

57/6 Luganskiy str. Tel.: +7-777-207-55-99 12:00~22:00
本格的なタイ料理が食べられるカザフスタン唯一のレストラン。値段も手ごろで、混雑することも少なくない。値段：★

●オイスター・バー The Oyster bar

117 Ablaikhan str. Tel.: +7-701-800-35-15 12:00~24:00
カザフスタンでは珍しく、様々な種類の生牡蠣とワインが楽しめるお店。牡蠣はフランスから輸入している。値段：★★★

●アントレコット Entrecote

-132 Bogenbai batyr str. (Panfilov str.との交差点付近) Tel.: +7-775-777-77-72
11:00~24:00
ステーキを中心としたヨーロッパ料理を提供している。値段：★★★

●シェイクスピア **Shakespeare**

40 Dostyk ave. Tel.: +7-771-772-19-00

日～木、12:00～00:30 金、土 12:00～2:30:00

ピザ、サンドイッチの他、東南アジア風のエスニック料理を提供しているスポーツ・バー。ビリヤードやダーツも楽しむことができる。定期的にコンサートが開かれている。値段：★★★

●コーヒールーム **Coffeeroom**

3 Satpaev str Tel.: +7-705-706-00-40 9:00～23:00

HP: <http://palladium.kz/restaurants/coffeeroom-327680>

イタリアンを中心としたヨーロッパ料理を提供しているカフェ・バー。値段：★★★

●ダブリン **Dublin**

45 Baiseitova str. Tel.: +7-707-272-14-75 日～木 12:00～2:00 金・土 12:00～3:00

アイリッシュパブ。店内は落ち着いた雰囲気、ビールの種類が豊富。値段：★★★

●ヤード・ハウス **Yard House**

2 micro-district Samal-1 Tel.: 263-36-85

月・火定休 水・木 16:00～01:00、金 16:00～02:00、土 11:00～02:00、日 13:00～01:00

ヨーロッパ料理を提供しているスポーツ・バー。夏にはテラス席が設置され、開放的な雰囲気の中で食事を楽しめる。値段：★★★

●マッド・マーフィーズ **Mad Murphy's**

65 Kazybek Bi str. (Zenkov str.との交差点付近) Tel.: +7-707-733-44-77

月～木、12:00～24:00 金～日、12:00～3:00

アイリッシュパブ。店内の装飾はアイルランドからの持ち込み。週末にはバンドの生演奏や、スタンドアップコメディが楽しめる。夜は欧米系外国人が多く集まり、社交場となっている。値段：★★

8. ショッピング

(1) メガ・アルマアタ **MEGA Alma-Ata**

247a Rozybakiev str. Tel.: +7-705-956-70-10

10:00～22:00 (カフェ・レストランは 24:00 まで)

HP: <http://mega.kz/en/mega.almaty/>

2006 年秋にオープンした、アルマティ最大級のショッピング・レジヤセンター。ブティック、大型スーパーの他、レストラン、フードコート、映画館、ボーリング場、スケートリンク、屋内遊園地等のレジヤ施設を備えている。

(2) メガ・パーク MEGA Park

127 Makataev str. Tel.: 232-26-28 10:00~22:00

HP: <http://mega.kz/en/mega.park/>

2014年にオープンした、メガのアルマティ2号店。メガ・アルマアタに併設している。Starbucks カザフスタン第1号店が店舗を構えている。

(3) エセンタイ・モール Esentai Mall

77/8 Al-Farabi ave. Tel.: 330-88-77 10:00~22:00 (一部店舗は 24:00、27:00 まで営業)

HP: <http://esentaimall.com/en/home>

2012年にオープンした、6階建てのショッピングモール。ブティック、家電量販店、レストラン・カフェ、映画館等 160以上の店舗を有する。正規ブランド品店も店を構える。「エセンタイ」とは、アルマティを南北に走る川の名称。

(4) ツム/ザンガール(中央デパート) ЦУМ / Заңғар

62 Abylai khan str. 10:00~21:00

1961年にオープンした3階建てのデパート。1階、2階は携帯用品、衣料品、化粧品、靴、3階は食器、土産物等を扱っている。3階では、カザフスタン土産(コルタの置物、絨毯、革製の小物入れなど)も売られている。

(5) 中央市場/グリーン・バザール Центральный рынок / Зеленый Базар

53 Zhubek Zholy str. (月曜定休) 8:00~19:00

アルマティ市内中心部で最大のバザール。形を変えながら 100年以上続いている。

屋根のある建物の1階と地下には野菜、果物、肉、魚、卵、米など生鮮食品が売られている。カザフ人のみならず、ドライフルーツを売るタジク人、フルーツを売るウズベク人など様々な人種・言語が交錯し、活気に満ちている。韓国系の売り子がキムチ、豆腐、餅などを売っている。また、中国から入ってくるインスタントラーメン、干し椎茸、春雨などの食品も買える。通りでも野菜が売られており、値段は屋根のあるところより安い、質は落ちる。

食料品売り場の外側には文房具、洗剤、菓子、衣類などを売る小さな店が軒をならべている。食品売り場正面左側の建物では日用雑貨が売られている。屋台ではシャシリク(串焼き)、ラグマン(中央アジア風うどん)、マンティ(肉まん)、ピロシキなどを売っている。いつも人でごった返しており、にぎやかだがスリなどの被害も多く注意が必要。

(6) バラホルカ Барахолка

TVQR QC3 district (月曜定休) 8:00~18:00

別名コンテナバザール。コンテナを利用して商売をしているためこの呼び名がついた。最近の一部新しい建物に建て替えられ、日用品・衣料品を中心に扱っている。アルマティ市中心から車で15~20分ほど行ったところにある。広く、大勢の買い物客でいつも賑わっている。近くに2階建てのショッ

ピングセンター「アデム(А д е м)」(3 Severnoe Koltzo)がオープンし、こちらでも日用品・衣料品を購入することができるが、バラホルカより若干割高である。中央バザール同様、スリには注意。

(7) スタリーチヌィ Столичный

121 Abylai khan ave. Tel. : 313-13-70 24時間営業
24時間営業の高級食料品店。

(8) ラムストール Рамстор

Tel: +7(727) 330-55-66(コールセンター)
-226Nazarbayev Ave 8:00~23:00
-247 a Rozybakiev Street 9:00~23:00
HP: <http://www.ramstore.kz/?lang=en>

市内各所のショッピングセンターに入っているトルコ系スーパーマーケット。食料品から日用品まで幅広い品揃えで、野菜、果物、肉などの生鮮食品も充実している。

(9) インターフード Interfood

HP : <https://www.interfood.kz/> (ロシア語)
-136 Tole bi str. Tel. : 275-86-05 8:00~22:00 23:00
-248 Dostyk Ave. Tel. : 387-24-62 8:00~22:00
-15 Gogol Str. Tel. : 382-42-46 8:00~22:00
-5 Al-Farabi Ave. Tel. : 311-54-03 8:00~21:00
輸入食料品、生活雑貨、日用品(主にドイツから)を中心に扱っているスーパー。値段は割高。

(10) シルクウェイ・シティ Silk Way City

71 Tole bi str. Tel. : 341-07-55 10:00~22:00
HP: <http://www.silkway.kz/>
2004年3月にオープンしたショッピングセンター。スーパーマーケットのほか、映画館、フードコート、楽器店、輸入食器店、土産物店などが入っている。

(11) ダサラン Dasarang

27 A Zhandosov str. Tel. : 275-60-61 9:30~20:00
韓国食材・雑貨店。牛や豚の薄切り肉を売っており、頼めばひき肉にしてくれる。冷凍の刺身や韓国製品の品揃えも比較的豊富だが、日によって商品の品揃え・鮮度にムラがある。お店のほかにも韓国料理店が併設している。(11:00~22:00)

(12) コリアン・マート Korean Mart

46 Dostyk ave. Tel. : 291-44-28 10:00~20:00
韓国製品の品揃えが豊富。

9. お土産

・フェルトの置物 (2,000~3,000 テンゲ)



フェルト生地で作られたラクダや

コルタ (移動式住居) 等の置物。ラクダは運搬手段や食糧として古来より中央アジアの遊牧民に重宝されてきた。コルタは、当地では家族の象徴とされている。

・カムシユ (鞭) (5,000~30,000 テンゲ)

カザフ人は、鞭を乗馬用に用いるとともに、魔除けとして室内に飾る風習がある。魔除け用の鞭には、天然石 (カーネリアン、琥珀、トルコ石等) やノロジカの足がはめ込まれている。



・ドンブラ (5,000~30,000 テンゲ)

カザフスタンを代表する民族楽器。2 弦の撥弦楽器。



・銀のアクセサリー

(ピアスとネックレスのセット: 30,000~30,000 テンゲ)

カザフスタンの女性の伝統的なアクセサリーは銀製で、天然石 (カーネリアン、琥珀、トルコ石等) をはめ込んだものが多い。昔は銀の装飾品が擦れる音で誰が歩いているのか判別できたため、女性には美しい歩き方が求められたという。



・チョコレート (650~2,000 テンゲ)

カザフスタンではお茶菓子としてチョコレートやキャンディが食され、家に招かれた際の手土産としてよく用いられる。カザフスタン最大手「ラハット」社と「バヤン・スウルウ」社の製品が人気。



・蜂蜜 (1 キロ 2,000 テンゲ前後)

カザフスタン、ロシア、モンゴル、中国にまたがるアルタイ山脈の麓に咲く花から採取される蜂蜜は、昔

から健康食品として名高く、当地では紅茶を飲みながら蜂蜜を食す文化がある。野花に加え、ハギ、ソバ、ヒマワリ、矢車菊など種類も様々。専門店では試食ができ、その場で樽から瓶詰めもしてくれる。



・革製品 (4,000~40,000 テンゲ)
伝統的な模様をあしらったものが
主体で、シンプルながら非常に個
性的かつ実用性に富む。



・カザフスタンワイン (3,500~30,000 テンゲ)
カザフスタン国内で生産されるブドウを
使ったワイン。
市内にテイスティングができる
お店もある。
代表的なワイン：アルバワイン



10. 通りの名前の由来

アルマティ市のほとんどの通りには、カザフ・ロシアの著名人や作曲家等の名前が付けられている。

- ・ **ドスティク通り**……カザフ語で「友好」の意。以前は「レーニン通り」と呼ばれていた。
- ・ **ジベック・ジョル通り**……カザフ語で「シルク・ロード」の意。
- ・ **シェフチェンコ通り**……ウクライナの国民的詩人、画家であるタラス・グリゴリエヴィチ・シェフチェンコ (1814-1861) に由来する。1847年、自由で民主的な全スラブ民族の団結を目指す秘密結社<キリス・メトディウス団>の一員として逮捕され、一兵卒として10年間流刑生活を送ったが、反帝政、反専制の態度を崩さず、抑圧されたウクライナ人の悲しみを歌い続けた。
- ・ **ジャンブル通り**……カザフの国民的吟唱詩人であるジャンブル・ジャバーエフ (1846-1945) に由来する。主にカザフ人の生活について唄った。1937年トビリシで開かれた詩人ショタ・ルスタベリ 750年祭に出席する等広く宣伝活動した。作品には<レーニン>、<我故郷>等がある。1997年には彼の誕生を記念して、ドスティク通り沿い (考古学博物館向かい) に「ジャンブル像」が建てられた。彼の手には、カザフの伝統楽器ドンブラが握られている。
- ・ **クルマンガズィ通り**……カザフの国民的作曲家であるクルマンガズィ・ザギルバーエフ (1806/1818-1879/1882) に由来する。カザフの古典的なキュイ (民族楽器による独奏曲) の祖といわれている。当時キュイ士は反体制分子として封建領主・皇帝から迫害されており、彼自身イルクーツクで拘留生活を送るが、彼の思想は変わることなく、カザフ人の無限の力を表現し続けた。
- ・ **ティミリャーゼフ通り**……植物学者、モスクワ大学教授であるクリメント・アルカジエヴィチ・ティミリャーゼフ (1843-1920) に由来する。炭酸同化における太陽エネルギーの役割を研究。光エネルギーは緑葉によって吸収され化学エネルギーに変わり植物体内に保存されるとするドイツの J. R. フォンマイヤーらの理論に実験的基礎を与えた。ソヴィエト・ダーウィニズムの創始者とされている。
- ・ **フルマノフ通り**……ドミートリー・アンドレエヴィチ・フルマノフ (1890-1926) に由来する。作家、党職員。プロレタリア作家グループ「10月」に所属、中・長篇小説家として活躍する。作品には<反乱>、<チャパーエフ>等がある。
- ・ **マナス通り**……マナスとは、キルギスの伝説上の英雄。キルギスでは、千年もの昔から叙事詩に語り継がれている。この通りは、以前、ワシーリ・イヴァノヴィチ・チャパーエフ (1887-1926) に由来し、「チャパーエフ通り」と呼ばれていた。チャパーエフはロシア十月革命に続く内戦期の英雄で、赤軍の指揮官。もともと第一次大戦に陸軍曹長として参加、その勇敢さで3個のゲオルギー十字勲章

を受けたが、革命後は赤軍に加わり、チェコスロバキア軍との戦闘、東部戦線でのコルチャーク軍との戦闘を指揮する等、数々の功績を立てるが、1919年9月に戦死した。

- **アバイ通り**……アバイ・クナンバーエフ（1845-1904）に由来する。詩人、啓蒙思想家、古典主義者。
- **アル・ファラビー通り**……中世のイスラム哲学者アル・ファラビー（870-950）に由来する。
- **アブライ・ハン通り**……カザフ・ハン国の王アブライ・ハン（1711-1781）に由来する。18世紀以降本格化したモンゴル系ジュンガル族の侵入に抗して頭角を現し、さらにロシアと清の双方に臣従を誓い、勢力均衡を巧みに利用する外交手腕をふるった。
- **クナーエフ通り**……ソ連時代のカザフスタン共産党第一書記クナーエフにちなんで付けられた。

